

令和3年度第3回石狩市浜益区地域協議会議事録

【日 時】 令和3年7月29日（木）18：00～19：00

【場 所】 浜益支所庁議室

【資 料】

- 1) 会議次第
- 2) 石狩市過疎地域持続的発展市町村計画（答申案）について
- 3) 地域おこし協力隊及び集落支援員の募集について

【出席者】 9名（14名中）

役職	氏 名	出欠	役職	氏 名	出欠	役職	氏 名	出欠
会長	宮田 勉	○	委員	佐藤 晃一	○	委員	水崎 理	
副会長	渡邊 隆之	○	委員	阿部 ゆかり	○	委員	寺山 広司	○
委員	岡本 俊介		委員	木村 美幸	○	委員	門脇 弥	
委員	久慈 貞子		委員	赤間 香子	○	委員	羽立 裕子	○
委員	鳴海 翔	○	委員	渡邊 真奈美				

- （支 所） 畠中支所長、開発市民福祉課長（併 浜益生涯学習課長）
宇野市民福祉課保健福祉担当課長（兼 はまます保育園長、浜益国保診療所庶務課長）
- （本 庁） 企画経済部企画課 中西次長、芳賀主査
（地域おこし協力隊） 井上優太
（事務局） 佐々木地域振興課長、船橋主査、柿崎主査

【傍聴者】 1名

【会議次第】

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 協議事項
 - (1) 石狩市過疎地域持続的発展市町村計画（答申案）について
 - (2) 地域おこし協力隊及び集落支援員の募集について
- 4 その他
- 5 次回の開催日程について
- 6 閉 会

1 開 会

【事務局】

お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。
令和3年度第3回浜益区地域協議会を開催いたします。

2 会長あいさつ

【宮田会長】

今日もお忙しい中、会議に出席いただきありがとうございます。

暑い日が続いております。気象予報によりますと、少なくともこれから向こう一週間は雨の降らない日が続きそうで、特に農家の方々にはまとまった雨が待たれる今日この頃であります。

いろいろありましたけれども、いよいよ東京オリンピックが開幕しました。連日、各種目で日本選手の活躍が相次ぎ、感動のシーンを何度も繰り返し見てしまい、ただでさえ暑い中、飲み過ぎ寝不足の毎日が続いております。

一方、新型コロナであります。ワクチン接種が進む中、感染は一向に収まる気配はなく、残念ながら多くの専門家が心配していたとおり、首都圏を中心に北海道も今後もさらに拡大しそうな状況となっております。

ワクチン接種を終えた方も、これからの方も打たないと決めている方も、皆様には今自分ができる予防対策を引き続き徹底、継続していただきたいと思っております。

今日は6月30日付けで市長より諮問のありました「石狩市過疎地域持続的発展市町村計画」の答申内容について、そして「地域おこし協力隊及び集落支援員の募集」について、皆さんと協議して参りたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

【事務局】

本日の会議出席人数が過半数に達し成立していることを報告します。

3 協議事項

(1) 石狩市過疎地域持続的発展市町村計画（答申案）について

【宮田会長】

前回の地域協議会で市からの諮問、計画概要について説明を受けたところですが、その際、委員の皆さんには持ち帰っていただきました。

今日の協議会でご意見や確認等をお願いしたいということにしておりました。皆さんどうでしょうか？ご意見等ありましたらお聞きしたいと思います。

～ 意見なし ～

【宮田会長】

なければ、私のほうから3点ほどお伺いしたいことがあります。

まず、1点目ですが、計画書の26ページ「地域における情報化」についてです。

計画では、情報・通信網の整備はこれからの必須生活インフラと位置づけ、都市部との格差を生じさせないとしております。

ご承知のとおり、過去においては厚田区・浜益区とも大きな災害に見舞われております。現在、情報伝達は各地区に設置されている防災無線をはじめ、携帯電話、スマートフォンで行われておりますが、その伝達方法に不安を抱えている区民が多いのも事実です。

想定を遥かに超える大きな災害が全国各地で頻発している昨今、情報が十分に伝わるよう住民の生活環境に沿った伝達手段の多重化について検討していただきたいと思っております。

2点目ですが、計画書の28ページ「交通施設の整備、交通手段の確保」についてです。

計画では、基幹交通路国道231号線を通る公共交通手段は将来も確保するとしております。

特に当地区は人口減少に伴うバス利用者の減少傾向が続き、札幌浜益間の民間路線バスが一部廃止され、天候に関わらず定期的受診を必要とする方や、高齢者にとって、特に、吹雪の中での乗り継ぎが大変大きな身体的負担となっております。札幌との唯一の直通連絡路線である沿岸バスですが、この路線について引き続きご尽力をお願いしたいと思います。

3点目ですが、計画書39ページ「8教育の振興」についてです。計画では、安心・安全な学校、その他の関連施設について引き続き改善に向けた取り組みを行うとしています。

厚田区で開校した小中一貫の義務教育学校について、当地区においても早急に整備されるよう配慮願います。

この3点です。

【中西次長】

3点お話をいただきました。

まず、地域における情報化についてですが、防災の伝達含め、これまでも自治会からご要望をいただいております。我々としても無線に限らず技術革新なども踏まえ、うまく情報伝達できるような仕組みを整えていきたいと考えているところです。

33ページにも、そういった情報伝達の多重化といった部分での記載もさせていただいております。将来に向かってそういった部分の必要性を十分認識しつつ進めていきたいと捉えているところです。

2つ目の交通の部分ですが、これまでも中央バスが厚田までになった経過を含めて、デマンドバスを走らせる等の取り組みをしてきております。沿岸バスのお話がありましたが、これまでコロナの影響で走っていない期間があり、今後どうなるのかという部分がありますが、沿岸バスも含めて厚田までの中央バス、これもなければデマンドも有効に作用しないということになりますので、全体を含めて何とか地域の足を確保していけるような対策をとっていききたい、というような記載をしているところです。

教育の部分につきましては、現在小中一貫の学校のお話がでしたが、まさに地域の皆様と進めさせていただいているということであると思っています。

この計画の中にもそういった学校の整備に向けて進める形の記述をしているところではありますが、これも速やかに整備が進むように、計画にあって当然実務として進めるということが大切になってくると思いますが、ここも意識して取り進めていけるように考えています。

また、質問にはありませんでしたが、今日、資料をお配りしております。

前回、厚田・浜益別々の数値があった方が良いというお話がありましたが、今後、来年再来年と毎年この計画と実態の検証というのを皆さんに進めていただくということもありますので、こういった資料を提供して、個別・具体的な事業をどう進めていくかという議論を継続的に進めていければと思っています。この資料は参考としてお出し致しましたが、今後データ等の要望がありましたら提供させていただきながら議論を進められればと思っています。

【宮田会長】

委員の皆様から関連してご質問等ありませんか。

～ 質問なし ～

【宮田会長】

新しい資料を見ますと、5年後には1,200人を下回る、そして10年後には1,000人を切るような大変残念なシミュレーションになっております。

意見が無ければ、諮問のありました「石狩市過疎地域持続的発展市町村計画」につきましては、計画がより持続的な発展を進めるものとなるように、先ほど私から質問いたしました3点「地域における情報化」「交通手段の確保」「教育の振興」の3分野に係る事項について意見を付けて妥当と認めて答申したいと思います。

～ 異議なしの声 ～

答申書の作成につきましては、私と事務局で責任を持って作成したいと考えております。

～ 異議なしの声 ～

完成した答申書につきましては、後日各委員へ配布いたします。

(2)地域おこし協力隊及び集落支援員の募集について

【事務局】

～ 資料により制度説明 ～

【宮田会長】

地域おこし協力隊については、これまでも募集しながら地域で活動している実績がありますので、皆さんもある程度理解していただいていると思います。

ただし集落支援員の方はあまり耳慣れていないと思います。概略説明がありましたので、今すぐにとってもわからないかとは思いますが、聞いてみたいことがありましたらお願いします。

【寺山委員】

集落支援員の制度は地域おこし協力隊と別物ですが、地域おこし協力隊を卒業した方が支援員になることは可能なのですか。

【事務局】

可能です。

【宮田会長】

お金の話で申し訳ないが、専任と兼任、430万円と40万円というお話しですが、例えば月額報酬は概ねいくら、予算要求するとしたら、活動費はいくらですかあるのですか。

【事務局】

430万円というのは国から財源措置される金額なのですが、その内訳としては、給料や活動のための諸経費など、使い方は自治体ごとに考えて良いとされております。一方で地域おこし協力隊は月額20万8千円、年収で300万円ぐらいなので、それとの兼ね合いもありますので、今後、企画課、厚田支所も含めて考えていきたいと考えています。

資料を基に説明しますと、右側が今まで導入してきた地域おこし協力隊、そして左側の新しく導入しようとする集落支援員、この2つがそれぞれの視点、外からの視点、中からの視点それがミックスされて活動していくことによって、より良い活動ができるのではないかと期待されるということです。

先ほど説明した過疎計画の中にも集落支援員の導入に向けて、という記載もあるので、これを機に浜益でも皆さんと意見交換しながら導入できたらと考えています。

【宮田会長】

ただ、自分なりに心配するのは、優秀な人材はいると思うのですが、地元にいる数が少ないということです。

いるとは思いますが、それぞれ仕事を持って、公職を持ちながら自治会等の活動もしながら色々兼務でやっている人が多いと思います。端的に言えば「遊んでいる人はいない」と私は思っています。

そのような中で地元から支援員を募るとするのは非常に難しいことだと心配しています。

まず、大切なのは、住民への周知ですね。今回初めて出てきた話しですので、まず、住民へ周知して理解と協力を得なければ、支援員の活動も滞ってしまうと思います。住民への周知について、事務局へお願いしたいと思います。

これはこれからの話し合いになりますが、支援員になる人は相当な行動力や企画力が必要だと思います。

普通の人では難しいと思っているので、ただ支援員に任せるのではなく、行政との連携やバックアップ、地域おこし協力隊との連携を取りながら進めていけたらいいなと思います。

新年度の予算要求に向けて、まだ時間はありますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

【事務局】

現在、皆さん第8期の委員をやっていただいておりますので、9月の末まで残り2カ月ですが、その間の総括ということで意見交換の場もあると思います。その中でも次期、第9期に向けて引き継ぎ事項的に集落支援員について意見をもらえれば、新年度につなげていけるのではと考えています。

【宮田会長】

先ほど説明ありましたが、我々第8期委員の任期も残り2カ月ほどとなりました。本件8期から次期9期委員への引継ぎ事項とすることも念頭に、残り任期中の協議をよろしくお願いします。

4. その他

【宮田会長】

その他連絡事項等ございますか

【事務局】

○「浜益いっぺ・かだれやフットパス」について

7月18日（日）「浜益いっぺ・かだれやフットパス」が浜益観光まちづくり推進協議会の主催で実施されました。

定員15名に対し11名の参加があり、当初幌会館をスタートして群別牧場を抜け、会館へ戻る約9キロのコースの予定でしたが、気温上昇の影響を受けて熱中症のリスク回避のため、約7キロ地点である群別牧場をゴールに変更して実施しました。ゴールに設定した牧場からは車で移動しています。

参加者の感想としては、気温が高く大変でしたが楽しかったという感想をいただきました。次回は秋9月12日（日）に浜益温泉周辺にて実施する予定です。

【宮田会長】

参加者は区外の方ですか？

【事務局】

参加者は皆さん札幌市の方でした。

【宮田会長】

その他ございますか。

【事務局】

○藤女子大学によるモザイクアートについて

現在、藤女子大学が浜益の活性化にお手伝いをしたいということで、小中学校の児童・生徒とモザイクアートに取り組んでいます。アートを拡大すると沢山の写真でできているというもので、今日、中学生11名に参加してもらい、区内の各地域で写真撮影しました。目標は3,000枚集めなければなりません。

明日発送の回覧にモザイクアートのチラシがありますので、良い写真がありましたら収集にご協力をお願いします。

【井上隊員】

○道の駅でのサクランボの販売PR活動について

7月17日（土）～7月18日（日）の2日間、12時から15時の3時間で浜益産サクランボを3農園から買い上げて販売を行いました。100グラム単位で小分けして2日間で210食販売できました。

サクランボは朝採れたものだったので、味がおいしいと好評だったり、1日目90食用意していましたがすぐに完売したので、2日目は量を増やすなどの対応も行いました。なかなか浜益に来る機会のないような人にも浜益のサクランボを食べてもらえて、PRに繋がったのではないかと考えています。写真等は用意しておりませんが、協力隊通信で記事にしていますのでご覧ください。

【羽立委員】

○海水浴場周辺のごみの不法投棄について

今コロナだったり暑い日が続いていたりして、ピリカビーチや海浜公園はかなりのお客さんでにぎわっていると思いますが、近隣住民の方から、ごみの不法投棄で困っているというお話を聞いたのでご報告させていただきます。外で皆さん食べたり飲んだりして帰ると思うのですが、以前はゴミステーションがあってそこに捨てて帰るということができましたが、今は撤去されていて、お持ち帰りが常識になっていますが、ポイ捨てする方が多くて近隣住民の方が臭いだったり、カラスのいたずらだったり大変困っていて、何かいい解決策はないかと伺ってきました。

【開発課長】

ポイ捨てを抑制するため、のぼりなどを立てて啓発しているところですが、それでも捨てる方がいるということですので、連絡をいただいた場合には現地へ行き、ごみの撤去作業など行っていますが、抜本的な解決には至っていない状況です。

【宮田会長】

海水浴場を開設した当初は10数か所程度ごみステーションがあったと思いますが、それはそれで新たな問題を引き起こし、結局は撤去して持ち帰りを推し進めた経緯があります。

他の海水浴場はどんな感じなのでしょうか

【赤間委員】

海水浴場だけではないと思います。私たち群別の（国道から）海に抜ける道路はすごい状況です。なんでこんなところにあるんだらうというものもあります。季節問わず、たぶん釣り客だと思のですが、マナーがないというか海水浴場だけではないです。

【事務局】

事務局からこうします、ということとは言えませんが、観光協会などへも住民からこういう声が出ていますということを伝えて課題として捉えていきたいと考えています。

【渡邊委員】

ごみをごみを呼ぶというか、地域でもごみを片付けてごみを呼び込まないような取り組みは地域として必要だと思います。

【赤間委員】

群別では年に何回かやっていたが、コロナの影響でしばらくやっていません。コロナがなければ毎年やっています。

【畠中支所長】

海水浴場に限らず、自分達の帰り道でも広範囲でポイ捨てが多い状況です。モラルに訴えなければならぬがそのモラルが欠如している方が増えているように思います。自分に置き換えて考えてくれれば良いのですが。

【事務局】

人目のつかないところの不法投棄は中々難しいですが、海水浴場など人目に付きやすいところは対策の余地はあると思っていますので、観光協会とも相談しながら対策を考えていきたいと思っています。

【宮田会長】

場内放送で周知するなどは？

【事務局】

既にしつこいぐらい放送していて、逆にうるさいと苦情がきたりもしています。

【宮田会長】

ほかの海水浴場の取り組み状況なども参考にしながら、時間はかかるかもしれませんが、取り組んでいくしかないのではないのでしょうか。

6 次回の開催日程について

【事務局】

次回ですが、今回議題となりました、地域おこし協力隊と集落支援員のほかに第8期の地域協議会委

員のまとめに向けた意見交換を予定しております。

概ね8月下旬を目途に調整させていただきたいと考えております。

詳しい日程は後日改めてお知らせさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

7 閉 会

令和3年8月3日 議事録確定

石狩市浜益区地域協議会

会長 宮 田 勉